



4/7 第20回入学式

満開の桜に迎えられて第20回入学式が行われました。72名の新入生は、昨日の入学式リハーサルを経験しているため、堂々とした様子で一人ずつステージの中央から登場して、名前を呼ばれると元気よく返事をする事ができました。お祝いの言葉は、次のとおりです。……

(お祝いのことば)

「満開の桜の花が一年生の入学をお祝いしているようです。」

本日、この良き日に、学校法人鶴学園 鶴衛 総長先生と鶴健太郎理事様、そして広島なぎさ中学校・高等学校の管弦楽部の皆さんが入学式のお祝いに駆けつけてくださいました。心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、なぎさ公園小学校に入学した1年生のよい子のみなさん、ご入学おめでとうございます。みんなで今日の日を今か今かと心待ちにしていました。みなさんは、このなぎさ公園小学校の第20期生、今日からなぎさっ子の仲間入りです。

ところで、皆さんは一年つくし組とこごみ組ですね。つくしやこごみは、春の植物。食べることができます。春がきてうれしいなとみんなを喜ばせてくれる植物です。ちょうど皆さんが入学してくれてうれしいなと感じる気持ちにぴったりの草花です。本物のつくしとこごみが学校のどこかに植えてあるので、見つけてみてくださいね。さて、これから、大切なこと2つ話をします。

一つ目は、「楽しくお勉強しましょう」ということ。先生や友だちから、そして身の周りの自然からもたくさん大事なことを教えてもらいます。楽しみにしてください。

二つ目は、「元気に安全に学校に来ましょう」ということです。お家から学校まで歩いたり、電車やバスにのったりして学校に来ます。途中で危ないことがないように周りをよく見てしっかり考えて、そして、安全に気をつけて来てくださいね。

保護者のみなさま、お子様のご入学おめでとうございます。鶴学園の建学の精神や教育方針に基づき、教職員みな、心を一つにして子どもたちの可能性の芽を育み伸ばしてまいります。保護者の皆様には、どうか毎朝子どもたちを元気に送り出して頂きますよう、お願いいたします。お祝いの言葉といたします。



つくしは、スギナの胞子茎、草原や田畑の畦などに多くみられる。こごみは山菜の一種で正式名称は「クサソテツ」若芽を「こごみ」と呼ぶ。若芽のときは、茎の先端がくるくる丸くなっている。



4月の生活目標

- 生活のリズムをととのえよう
- マスクを着用しよう
- 手洗いをしよう

なぜ、入学式のリハーサルをするの？

一般的に、入学式にのぞむ1年生は、先生に言われるとおりに動いて式に参加します。言わば、お客様です。なぎさでは、入学式の主人公である新入生が式場で、本当の主人公になることができるよう前日にリハーサルを行います。前日の入学説明会で、保護者の方に学校のことをご説明する間、新入生は、体育館で入学式のリハーサルをします。式の流れを覚えたり、実際に動いたり、返事をしたりして明日の本番を迎えます。

何が違うのでしょうか。それは、入学式も大切な学習の場であるとして、初めの1歩から、自分で考えて、行動することで自信をもって入学してほしいとの願いが込められているのです。新入生は、広い体育館のステージの中央から、一人で歩き出て、呼名に合わせて手を上げて返事をし、フロアの自分の席に戻ります。今年、初めて着任された先生が、「感動しました。自立した一年生の姿に驚きました。」と感想を言われました。

お見事なく新入生代表 ちかいのことば

あたらしい せいふくと／あたらしい ランドセル／いりぐちの おはなも／おおぞらの ひばりも／みんな かがやいているよ／きょうから わたしたちは／なぎさっこの なかまいりを します／おうちの ひとや せんせいの おはなしを よく きき／げんきに がっこうにかよい／もっとも っと かがやく しょうがくせいになります／どうぞ よろしく おねがいします／



▲原稿を見ないで覚えて話す代表の1年生。

